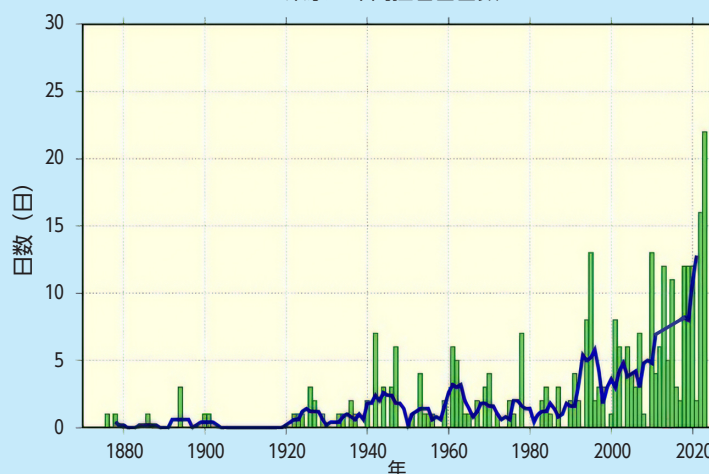




わが社の

世界の平均気温が1850年～1900年と比較して1.55度上がったといわれています。実際に東京の年間の猛暑日日数もグラフのように右肩上がりの状況となっており、今後ますます熱中症が猛威をふるうことが確実となってきました。

東京の年間猛暑日日数



また、本年6月1日より労働安全衛生規則が改正され、熱中症の早期発見と重篤化防止に必要な対策が事業主に義務付けられました。

そこで、会員企業の具体的な「暑さ対策」と「具体的効果」をご紹介しますことにより、栃木県建設業協会が真摯にこの問題に取り組んでいる姿勢をご理解いただくとともに、各社の暑さ対策の参考となれば幸いです。

〔正〕 川上建設株式会社〔鹿沼支部〕

取り組んでいる暑さ対策

- ①高視認空調服ベストの使用
- ②社屋に製氷機（115ℓ）を設置し、毎朝会社から各現場へ用意
- ③【熱中症予防（管理者）】講習の実施取得
- ④社内統一マニュアル作成



具体的な効果

- ①高視認のため現道沿いの作業でも第三者から目立ち安全
- ②現場用のクーラーボックスに氷及び飲料水を入れて常備しているため熱中症予防に役立つ
- ③現場代理人の知識の向上により作業班への指示及び管理ができる
- ④熱中症マニュアルを社内統一することにより各現場代理人が用意するものが分かり、社内安全パトロール等においてもマニュアル

熱中症対策及び対処マニュアル

- | | |
|-----------------------|------------|
| ① 現場における熱中症対策の徹底化について | ・・・P2～P5 |
| ② 熱中症による労働災害の傾向 | ・・・P6～P7 |
| ③ 工事における熱中症の発症時の対応 | ・・・P8～P11 |
| ④ 工事における熱中症予防対策！！ | ・・・P12～P15 |

令和7年4月

川上建設株式会社

があることで現場内の熱中症対策に足りない部分が分かりやすくなり熱中症予防対策に役立つ

暑さ対策



株式会社大藤建設 [日光支部]

取り組んでいる暑さ対策

- ①毎朝ウォータージャグ（20ℓ）に麦茶を用意し、中にブロック氷（15cmの立方体）を入れていつでもアイススラリーを経口補給できる状態にする
- ②WBGT 温度計を身に着け、警報が鳴り始めたら1時間おきに休憩時間を設ける



具体的な効果

- ①作業中にいつでもどこでもアイススラリーが補給できる環境を提供できる
- ②警報レベルに合わせ、休憩頻度を上げているので“暑ければ休憩も多い”こととなり、休憩機会が多ければ熱中症の重症化リスクの低減につながる



剋真建設株式会社 [芳賀支部]

取り組んでいる暑さ対策

- ①休憩所に、移動可能なスポットクーラー・ミストファン設置



具体的な効果

- ①スポットクーラーを休憩所に設置することで、作業員の熱された体を冷ますとともに心のリフレッシュ効果を促す。また、ミストファンを同時に使用することで、短時間で体を冷やす効果もあり、小まめに休憩を取り、疲れを解消できる
スポットクーラー、ミストファン共に、キャスターが付属しているため、どこにでも安易に運び・設置することができる





わが社の



株式会社斉藤組 [下都賀支部]

取り組んでいる暑さ対策

- ① 熱中症リスク判定 AI カメラ「カオカラ」の設置
- ② アイススラリー冷蔵庫の設置



具体的な効果

- ① AI カメラで顔色や表情などから熱中症リスクを早期発見することが可能
- ② 暑熱対策として効果的なアイススラリーを生成する冷蔵庫である
微細な氷と液体が混合した流動性のある氷（アイススラリー）を摂取することで、体を中から冷やすことが可能



大谷建設株式会社 [塩谷支部]

取り組んでいる暑さ対策

- ① 熱中症リスク判定 AI カメラ「カオカラ」の設置
- ② 熱中症対策バンド「I-BOW」の導入
- ③ DAKARA PRO (法人用で一般購入できない) の常備
- ④ 喫煙所に簾屋根を設置
- ⑤ 発生時の対応要領を記載したカードの作成・配布
- ⑥ 建災防の「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」ののぼり旗の設置



具体的な効果

- ① AI カメラで顔色や表情などから熱中症リスクを早期発見することが可能
- ② 夏本番はアラームが鳴りっぱなしになる支障あり
- ③ 塩分・糖分の過剰摂取にならず（ゼロカロリーのため）万人に使用可能
- ④ 喫煙は外でのルールとなっているため、喫煙者に好評
- ⑤ 全員に周知可能
- ⑥ 全員の意識啓蒙が図れる

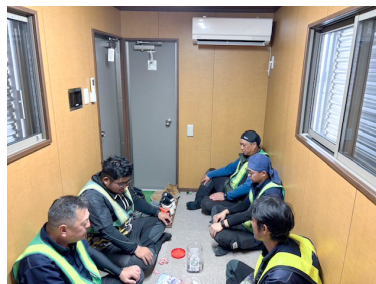
暑さ対策



株式会社館林工業 [那須支部]

取り組んでいる暑さ対策

- ①全作業員に腕時計型ウェアラブル熱中症予防機器『I - BOW デジタル』を支給
- ②夏季には作業員一人ひとりに休憩時の飲料水購入支援金を支給
- ③現場での熱中症対策として【クールカー（冷房車）】の使用



具体的な効果

- ①WHOが示す軽度熱中症の深部温度（脳や内臓などの体の内部温度）は38.0℃に設定されているが『I - BOW デジタル』では深部温度37.8℃を検知すると、音・光・振動の3つのパターンで軽度熱中症を未然に通知し、異変を本人と現場管理者が同時に把握することで着用者に水分補給や休息を促し初期医療対応につなげることができる
- ②飲料水購入支援制度では、一人で出向く現場などでもこまめな水分・塩分補給を促進することで体調管理の意識向上にもつながっている
- ③高温環境からの一時避難場所になり「涼める場所がある」という安心感が現場での集中力や安全意識の向上につながる



鈴木建設株式会社 [烏山支部]

取り組んでいる暑さ対策

- ①全作業員に通気性の良いヘルメット、ベスト型空調服及びドライポロシャツを貸与する
- ②冷凍庫に200mm×130mm×60mmのブロック氷を作っておき、毎朝作業班ごとに約20ℓの大型ジャグで氷水を携行させる
- ③除草作業時等の日陰の少ない現場作業時には麦わらバイザーを装着させる。
- ④作業班ごとに、凍らせたアルカリイオン飲料を入れたクーラーボックスを携行させ、冷たい清涼飲料水やアイス、塩バナナの配布を行う



具体的な効果

- ①通気性の良い装備品によって作業員の体温の上昇を抑える
- ②200mm×130mm×60mmのブロック氷を使用することで、長時間低水温を保持し必要な水分補給をこまめに行える
- ③麦わらバイザーは軽量で装着も簡単であり、日陰が少ない場所での作業時は上半身に日陰を作り体温の上昇を抑える効果がある
- ④体の内側から体温を下げる効果のある冷たい飲料で必要な水分とミネラルを補給することができる。また、アイスや塩バナナの配布時は会話が生まれ作業員同士の体調確認もできる





わが社の暑さ対策



中里建設株式会社 [安蘇支部]

取り組んでいる暑さ対策

- ①熱中症予防教育を毎週月曜日の朝礼時に行っている
 - 一週間の天気、気温の確認
 - 熱中症発生リスクの確認
 - もしもの時の対応の確認
- ②現場事務所の冷蔵庫には氷、アイス、飲物を常備
- ③空調服、冷感シャツ等の貸与



具体的な効果

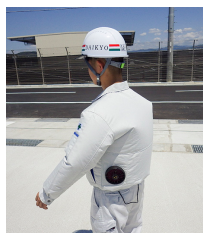
- ①従業員の熱中症に対する意識が高まる
- ②アイスを食べながらこまめな休息を取るたびにコミュニケーションが深まり、作業員同士の異変に気付きやすい



大協建設株式会社 [足利支部]

取り組んでいる暑さ対策

- ①空調服＋水冷服の使用
- ②製氷機の設置
- ③熱中症対策バンド I-BOW の導入
- ④ WBGT 値（暑さ指数）チェックモニター の導入
- ⑤熱中症予報（WBGT 値）のぼり旗の設置



具体的な効果

- ①水冷服は空調服のようにファンで風を送り込むのではなく、冷たい水が管を通して体表面に触れることで冷覚効果を発揮する。空調服と水冷服の2つを組み合わせることで最強の熱中症対策が可能
- ②いつでも冷たい飲み物を供給することで体温を内側から下げることができ、局所的に体を冷やすこともできるので即効的な対策が可能
- ③身体のリスクを事前に検知することで、水分補給や休息を促すことができ対策を講ずることができる。特に自分で身体の異常に気が付きにくい高齢者に役立つ
- ④ WBGT 値をリアルタイムに表示することで現在の環境状況を把握し、熱中症のリスクを早期に発見することができる。また、視覚的に表示することで、作業員の熱中症対策意識を高める
- ⑤熱中症予報（WBGT 値）のぼり旗
現場作業員だけでなく事務所や施設への来客者や従業員への安全対策やアピール効果も期待できる